

新潟発！災害発生時「食の安心を！」はんぶん米

2010年4月27日

関係各位

有限会社エコ・ライス新潟



NICO 防災研 番外編

新発田市災害ボランティア視察研修で、防災研の3社が倉庫を避難所に想定し被災体験を提供！

最初はダンボールのタンカに不安でしたが、軽くて高齢者でも安心して怪我人を運べることを実感。



○新潟の災害発の防災の輪を広めたい！○

新発田市社会福祉協議会「災害ボランティア研修」28名様が来社。折角の機会なので、NICO 防災研と相談し、安達紙器(株)、博進堂(株)に呼びかけ「防災研番外編」として、NICO と研究会企業がコラボして講師を務めました。

まず、前半で NICO 渡辺さんより防災研の成立ちと活動について説明。エコ・ライスが被災体験から食事制限者用の「はんぶん米」開発経緯の説明。安達紙器からは「AED スクリーン」「レスキューボード」「授乳室・更衣室」を説明。博進堂からは「防災カレンダー」について説明をしました。

後半では3つの班に別れて、「はんぶん米」を水とお湯で試食体験、「レスキューボード」で参加者が怪我人に扮し運びました。「授乳室・更衣室」組立てと分解を体験しました。

参加者は熱心に体験や質問を繰り返していました。本日の体験が新発田市の災害対策に役立つことを心より願います。



参加者28名が倉庫のコンクリートに敷いただけのブルーシートに座りました。床からの冷気がひんやり！倉庫の電気もつけず薄暗い中で気分的には避難所の体育館。



後半は3ヶ所に別れて体験をしました。参加者は中越地震から生まれた商品に感心しきり。被災体験をしたからこそ生まれた防災商品。触って食べて試ってみて必要性が理解できます。



はんぶん米の箱と段ボールトレーで小さなちゃぶ台を囲んで説明。ペットボトルの水で簡単手軽にご飯が食べられることにビックリ。トレに乗せ食事の配給の列に並べない病人・けが人に運ぶことができます。



繰り返し使える「授乳室・更衣室」は避難所で女性の強い味方。加えて段ボール製なのでリサイクルもできる優れたもの。「女性の視点」で作られていて、参加者の女性達も感心。避難生活を向上させます。

【 問合せ先：(有)エコ・ライス新潟 豊永有(トヨナガユ) 】

〒954-0181 新潟県長岡市脇川新田町字前島 970-100

TEL 0258-66-0070 FAX 0258-66-0447

e-mail eco-net@nekonet.ne.jp



HP <http://eco-rice.jp/> 幻の白藤 HP <http://www.rice-shirafuji.com>